

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2017-516580

(P2017-516580A)

(43) 公表日 平成29年6月22日 (2017.6.22)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
<b>DO6F 75/38 (2006.01)</b>	DO6F 75/38	4 L O 2 9
<b>DO6F 75/14 (2006.01)</b>	DO6F 75/14	Z
<b>DO6F 75/22 (2006.01)</b>	DO6F 75/22	

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2016-570787 (P2016-570787)  
 (86) (22) 出願日 平成28年2月8日 (2016.2.8)  
 (85) 翻訳文提出日 平成28年12月1日 (2016.12.1)  
 (86) 国際出願番号 PCT/EP2016/052608  
 (87) 国際公開番号 W02016/128347  
 (87) 国際公開日 平成28年8月18日 (2016.8.18)  
 (31) 優先権主張番号 15154426.9  
 (32) 優先日 平成27年2月10日 (2015.2.10)  
 (33) 優先権主張国 欧州特許庁 (EP)

(71) 出願人 590000248  
 コーニンクレッカ フィリップス エヌ  
 ヴェ  
 KONINKLIJKE PHILIPS  
 N. V.  
 オランダ国 5656 アーエー アイン  
 ドーフェン ハイテック キャンパス 5  
 High Tech Campus 5,  
 NL-5656 AE Eindhove  
 n  
 (74) 代理人 100122769  
 弁理士 笛田 秀仙

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 芳香カートリッジを受容するための蒸気アイロン

(57) 【要約】

本発明は、蒸気アイロン 1 に関する。蒸気アイロン 1 は、底板 3 を有する。底板 3 は、蒸気の通過のための蒸気チャンネル 6 と、アイロンがけ面 10 と、蒸気チャンネル 6 とアイロンがけ面 10 との間の蒸気の通過のための通気口 4 と、蒸気チャンネル 6 とアイロンがけ面 10 との間に延在する開口 9 と、芳香を蒸気チャンネル 6 に放散するため蒸気チャンネル 6 へと延在するように開口 9 に受容された芳香カートリッジ 7 と、を持つ。開口 9 は、底板 3 において芳香カートリッジ 7 をアイロンがけ面 10 と同一平面となるように固定する。本発明はまた、芳香カートリッジ 7、及び蒸気アイロン 1 によって生成される蒸気に芳香を与える方法に関する。

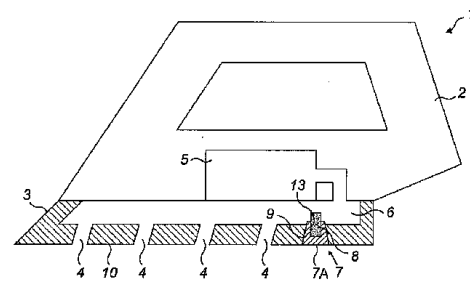


FIG. 1

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

底板を有する蒸気アイロンであって、前記底板は、蒸気の通過のための蒸気チャンネルと、アイロンがけ面と、前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間の蒸気の通過のための通気口と、前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間に延在する開口と、芳香を蒸気チャンネルに放散するため蒸気チャンネルへと延在するように前記開口に受容された芳香カートリッジと、を有し、前記開口は、前記底板において前記芳香カートリッジを前記アイロンがけ面と同一平面となるように固定する、蒸気アイロン。

**【請求項 2】**

前記開口は、5 mm と 10 mm との間の直径を持つ円形である、請求項 1 に記載の蒸気アイロン。 10

**【請求項 3】**

前記開口は、前記芳香カートリッジに形成されたねじ山と協働するよう構成されたねじ山を有する、請求項 2 に記載の蒸気アイロン。

**【請求項 4】**

前記開口は、蒸気が前記蒸気チャンネルに入る場所の近くにおいて前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間に延在する、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の蒸気アイロン。

**【請求項 5】**

香料受容要素と、前記香料受容要素を保持するための保持器と、を有する、芳香カートリッジ。 20

**【請求項 6】**

前記香料受容要素は、前記蒸気チャンネルから前記保持器を通過して延在し、前記開口から該保持器を取り外すことなく、液体の香料で前記香料受容要素が満たされることを可能とする、請求項 5 に記載の芳香カートリッジ。

**【請求項 7】**

前記保持器は、前記香料受容要素を受容するための凹部を有し、前記凹部は、部分的にのみ前記保持器を通過して延在し、前記香料受容要素が、部分的に前記保持器を通過して延在するようにし、前記芳香カートリッジが前記開口に受容されたときに、前記アイロンがけ面からアクセス不可能とされた、請求項 5 に記載の芳香カートリッジ。 30

**【請求項 8】**

前記香料受容要素は、前記蒸気チャンネルへと突出するよう構成された、請求項 5 乃至 7 のいずれか一項に記載の芳香カートリッジ。

**【請求項 9】**

前記香料受容要素は、多孔質の材料からつくられた、請求項 5 乃至 8 のいずれか一項に記載の芳香カートリッジ。

**【請求項 10】**

前記保持器は、前記アイロンがけ面と同一平面上にある、請求項 5 乃至 8 のいずれか一項に記載の芳香カートリッジ。

**【請求項 11】**

前記保持器は、前記開口内に着脱可能に固定された、請求項 5 乃至 10 のいずれか一項に記載の芳香カートリッジ。 40

**【請求項 12】**

前記保持器は、前記底板に対する前記保持器の移動によって、前記底板から手動で取り外すことが可能な、請求項 11 に記載の芳香カートリッジ。

**【請求項 13】**

底板を有するアイロンによって、アイロンがけの間に衣類に噴霧されることを意図された蒸気に芳香を与える方法であって、前記底板は、蒸気の通過のための蒸気チャンネルと、アイロンがけ面と、前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間の蒸気の通過のための通気口と、前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間に延在する開口と、を有し、前 50

記方法は、

前記開口に芳香カートリッジを、前記蒸気チャンネルにおいて香料を放散するよう前記蒸気チャンネルに延在するように、且つ前記アイロンがけ面と同一平面上となるように、配置するステップと、

前記蒸気を前記蒸気チャンネルに通過させるステップと、  
を有する方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、芳香カートリッジを受容するための蒸気アイロン、及び斯かる蒸気アイロンのための芳香カートリッジに関する。本発明はまた、蒸気アイロンによるアイロンがけの間に衣類に噴霧させられることを意図された蒸気に芳香を与える方法に関する。

10

【背景技術】

【0002】

衣類に芳香をアイロンがけにより与えることは、延長された期間の間衣類から芳香が放出されることに帰着することが知られている。例えば、衣類は、アイロンがけの前に、液体の香料を予め噴霧されることができる。しかしながら、衣類に予め噴霧することは、時間を消費するものであり、液体の香料が衣類に染みを付けることに帰着し得る。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

20

【0003】

芳香は、蒸気アイロンの水タンクに、芳香精油の滴を注ぐことによって、衣類に付与され得る。それ故、蒸気アイロンが動作させられるときに、水タンクにおける液体の水が蒸発させられ、該精油の芳香を与えられる。しかしながら、どれだけの精油が水タンクに加えられるべきかをユーザが判断することは困難である。更に、水タンクにおける精油は水とともに蒸発せず、殆どの精油が水タンクに残ってしまい、蒸気が強い芳香を持たないこととなる。加えて、別の芳香が用いられる前には、水タンクにおける液体の水及び精油が完全に空になることが必要である。

【0004】

米国特許出願公開US6,351,901は、蒸気を生成するための蒸気生成装置と、蒸気に添加物を放出するための添加装置とを備えた蒸気アイロンを開示している。該添加装置は、蒸気への添加物の放出のための毛細管装置から成る。

30

【0005】

本発明の目的は、蒸気した問題を著しく軽減する又は克服する、蒸気アイロン及び蒸気アイロンにより生成される蒸気に芳香を与える方法を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明によれば、底板を有する蒸気アイロンであって、前記底板は、蒸気の通過のための蒸気チャンネルと、アイロンがけ面と、前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間の蒸気の通過のための通気口と、前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間に延在する開口と、芳香を蒸気チャンネルに放散するため蒸気チャンネルへと延在するように前記開口に受容された芳香カートリッジと、を有し、前記開口は、前記底板において前記芳香カートリッジを前記アイロンがけ面と同一平面となるように固定する、蒸気アイロンが提供される。

40

【0007】

使用時には、ユーザは芳香カートリッジに香料を供給しても良い。蒸気アイロンの動作の際、蒸気が該蒸気チャンネルに沿って流れ、芳香カートリッジに流体連通される。このことは、芳香カートリッジに吸収された香料が、蒸気チャンネルにおいて蒸気へと放出されることを引き起こし、該蒸気が次いで蒸気がけされるべき物品へと放出されて、芳香を与える。それ故、ユーザは、該物品に予め香料を噴霧すること、又は蒸気アイロンの水タンク

50

に香料を供給することの必要なく、蒸気がけされるべき該物品に芳香を容易且つ信頼性高く与えることが可能である。更に、芳香カートリッジが加熱される底板に受容されるため、底板からの熱が芳香カートリッジからの香料の蒸発を促進し、より多くの香料が蒸気チャンネル中の蒸気に与えられるようにする。更には、底板に配置された芳香カートリッジは、蒸気アイロンが基部に置かれたときにユーザが容易に芳香カートリッジにアクセスできるという利点を提供する。それ故、芳香カートリッジにおける香料の量を補充することが簡略化される。

【0008】

使用時には、ユーザは芳香カートリッジに香料を供給しても良い。蒸気アイロンの動作の際、蒸気アイロンの動作の際、蒸気が該蒸気チャンネルに沿って流れ、芳香カートリッジに流体連通され、これにより芳香が蒸気に与えられ、該蒸気が次いで蒸気がけされるべき物品へと放出される。それ故、ユーザは、該物品に予め香料を噴霧すること、又は蒸気アイロンの水タンクに香料を供給することの必要なく、蒸気がけされるべき該物品に芳香を容易且つ信頼性高く与えることが可能である。更に、芳香カートリッジが加熱される底板に受容されるため、底板からの熱が芳香カートリッジからの香料の蒸発を促進し、より多くの香料が蒸気チャンネル中の蒸気に与えられるようにする。更には、蒸気アイロンが基部に置かれたときに、ユーザが容易に芳香カートリッジにアクセスすることが可能である。それ故、芳香カートリッジにおける香料の量を補充することが簡略化される。

10

【0009】

前記開口は、5mmと10mmとの間の直径を持つ円形であっても良い。前記開口は、前記芳香カートリッジに形成されたねじ山と協働するよう構成されたねじ山を有しても良い。

20

【0010】

前記開口は、蒸気が前記蒸気チャンネルに入る場所の近くにおいて前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間に延在しても良い。このことは、蒸気が蒸気チャンネルに入るときに芳香が蒸気に与えられることを可能とし、蒸気が通気口を介して出る前に、蒸気に均一に香料が噴霧されるためのより多くの時間があるようにする。

【0011】

前記芳香カートリッジは、香料受容要素と、前記香料受容要素を保持するための保持器と、を有しても良い。

30

【0012】

一実施例においては、前記香料受容要素は、前記蒸気チャンネルから前記保持器を通して延在し、前記開口から該保持器を取り外すことなく、液体の香料で該要素が満たされることを可能とする。最初に底板から保持器を取り外す必要なく、多孔質の香料受容要素にユーザが香料を供給することが可能であるため、このことは芳香カートリッジの容易な再補充を可能とする。

【0013】

一実施例においては、前記保持器は、前記香料受容要素を受容するための凹部を有し、前記凹部は、部分的にのみ前記保持器を通して延在し、前記香料受容要素が、部分的に前記保持器を通して延在するようにし、前記芳香カートリッジが前記開口に受容されたときに、前記アイロンがけ面からアクセス不可能とする。それ故、前記保持器が、前記香料受容要素と蒸気がけされるべき物品との間の障壁を形成し、直接の接触が防止される。それ故、蒸気がけされるべき物品へ香料が漏れる可能性が低減させられる。

40

【0014】

前記香料受容要素は、前記蒸気チャンネルへと突出するよう構成されても良い。このことは、蒸気チャンネルにおける蒸気と接触する香料受容要素の表面積を増大させ、それにより蒸気に与えられる香料の量が増大させられる。

【0015】

前記香料受容要素は、多孔質の材料からつくられても良い。

【0016】

50

一実施例においては、前記保持器は、前記アイロンがけ面と同一平面上にある。それ故、アイロンがけ面がアイロンがけされるべき物品の表面の上を動かされるときに、蒸気がけされるべき物品に該保持器が引っ掛かることが防止される。

【0017】

一実施例においては、前記保持器は、前記底板における前記開口内に着脱可能に固定される。それ故、前記香料受容要素は、不具合のある場合に容易に交換されることができ、又は異なる香料を付与された香料受容要素と容易に交換されることができる。

【0018】

前記保持器は、前記底板に対する前記保持器の移動によって、前記底板から手動で取り外すことができても良い。それ故ユーザは、香料受容要素に香料を供給するために該保持器を取り外すことができ、該保持器及び香料受容要素を容易に修理及び/又は交換することができる。

10

【0019】

前記保持器は、別個の器具を使うことなく、前記底板から手動で取り外すことができても良い。このことは、香料受容要素を交換するため、又は香料受容要素に香料を供給するため、該保持器をユーザが容易に取り外すことを可能とする。

【0020】

本発明の他の態様によれば、底板を有するアイロンによって、アイロンがけの間に衣類に噴霧されることを意図された蒸気に芳香を与える方法であって、前記底板は、蒸気の通過のための蒸気チャンネルと、アイロンがけ面と、前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間の蒸気の通過のための通気口と、前記蒸気チャンネルと前記アイロンがけ面との間に延在する開口と、を有し、前記方法は、前記開口に芳香カートリッジを、前記蒸気チャンネルにおいて香料を放散するよう前記蒸気チャンネルに延在するように、且つ前記アイロンがけ面と同一平面上となるように、配置するステップと、前記蒸気を前記蒸気チャンネルに通過させるステップと、を有する方法が提供される。

20

【0021】

本発明のこれらの及び他の態様は、以下に説明される実施例を参照しながら説明され明らかとなるであろう。

【0022】

本発明の実施例は、添付図面を参照しながら、単に例として、以下に説明される。

30

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図1】本発明の実施例による蒸気アイロンの模式的な側面断面図である。

【図2】蒸気アイロンの底板から保持器が取り外された、図1の蒸気アイロンの斜視図である。

【図3】本発明の代替の実施例による蒸気アイロンの模式的な側面断面図である。

【図4】本発明の代替の実施例による蒸気アイロンの模式的な側面断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0024】

図1及び2を参照すると、本発明の実施例による蒸気アイロン1が示されている。蒸気アイロン1は、本体2及び底板3を有する。蒸気アイロン1は、底板3における複数の蒸気口4を通して、衣類のようなアイロンがけされるべき物品へと蒸気を当てるよう構成される。

40

【0025】

蒸気アイロン1は、蒸気を生成するための蒸気生成器5を含む。蒸気生成器5は、当業者には知られた従来の構成から成り、例えば水タンク(図示されていない)からボイラ(図示されていない)へと液体の水を供給するポンプ(図示されていない)を有する。ボイラは、該ボイラ内の水を加熱して蒸気を生成するよう構成される。

【0026】

蒸気チャンネル6は、底板3における複数の蒸気口4と蒸気生成器5を流体連通させる。

50

それ故、蒸気は蒸気生成器 5 から蒸気チャネル 6 に沿って流れ、蒸気口 4 から出て蒸気がけされるべき衣類に作用することが可能である。

【0027】

蒸気アイロン 1 は更に、芳香カートリッジ 7 を有する。芳香カートリッジ 7 は、保持器 7 A と香料受容要素 8 とを有する。保持器 7 A は、香料受容要素 8 の端部が保持器 7 A に固定的に収容されるように、香料受容要素 8 を受容するよう構成された、凹部 13 を有する。

【0028】

底板 3 は、底板 3 の厚さ方向を通して延在する開口 9 を有する。開口 9 は、保持器 7 A を受容するよう構成される。開口 9 は、保持器 7 A のねじ山 12 と係合するよう構成されたねじ山 11 を有し、これにより芳香カートリッジ 7 が、底板 3 の開口 9 へと着脱可能にねじ式に取り付けられることができる。

【0029】

開口 9 は円形であり、5 mm と 10 mm との間の直径を持ち、保持器 7 A は円形であり、開口 9 にぴったりとフィットするよう対応する直径を持つ。しかしながら、代替の実施例においては、開口 9 及び保持器 7 は別の形状及び / 又はサイズを持っていても良いことは、理解されるであろう。

【0030】

香料受容要素 8 は、多孔質の材料を有しても良い。本実施例においては、該多孔質の材料は、発泡体を有する。しかしながら、香料受容要素 8 は、例えばコルク又は布のような、別の多孔質の材料を有しても良いことは、理解されるべきである。

【0031】

使用時には、ユーザは数滴の液体の香料を香料受容要素 8 に供給する。香料受容要素 8 の多孔質の材料は、当該液体の香料の滴を吸収する。芳香カートリッジ 7 は次いで、開口 9 にねじ式に取り付けられる。該香料は例えば、精油又は香水を有しても良い。

【0032】

底板 3 は、蒸気がけされるべき衣類と当接する接触面 10 を有する。芳香カートリッジ 7 が底板 3 における開口 9 にねじ式に取り付けられたとき、保持器 7 A は接触面 10 を越えて延在はせず、保持器 7 A の表面は接触面 10 と同一面上となる。当該構成は、底板 3 の接触面 10 が、蒸気がけされるべき衣類の表面の上を動かされるときに、保持器 7 A が、蒸気がけされている衣類の上で引っ掛かることを防止する。

【0033】

芳香カートリッジ 7 が底板 3 における開口 9 にねじ式に取り付けられたとき、香料受容要素 8 の端部は、蒸気チャネル 6 へと延在する。それ故、蒸気生成器 5 の動作の際、蒸気は蒸気チャネル 6 に沿って流れ、香料受容要素 8 と流体連通させられる。このことは、香料受容要素 8 に吸収された香料が、蒸気チャネル 6 における蒸気へと放出されることを引き起こす。蒸気は次いで、複数の蒸気口 4 を通して、蒸気がけされるべき衣類へと放出され、これにより芳香が衣類に付与される。

【0034】

芳香カートリッジ 7 は、底板 3 における開口 9 からねじ式に取り外されることができ、これによりユーザが香料受容要素 8 にアクセスすることを可能とする。それ故ユーザは、香料受容要素 8 に吸収された香料の量を容易に補充することができる。加えて、香料受容要素 8 は、別の香料を吸収するために用いられる別の香料受容要素（図示されていない）と交換されることができ、それ故、異なる香料の混合が防止され、別の香料が用いられる前に香料受容要素 8 における香料の全てが使い切られる必要がない。

【0035】

芳香カートリッジ 7 は、別個の器具の必要なく、開口 9 から容易に手動でねじ式に取り外されることができ、保持器 7 A は、香料受容要素 8 に対して保持器 7 A の反対側にあるスロット 7 B を有する。保持器 7 A が底板 3 における開口 9 に受容されているとき、スロット 7 B はユーザによってアクセス可能である。それ故ユーザは、スロット 7 B に指の

10

20

30

40

50

爪を挿入して保持器 7 A をねじ回しし、開口 9 から芳香カートリッジ 7 を取り外すことができる。代替の実施例（図示されていない）においては、スロット 7 B は省略され、保持器をねじ式に取り外すためにユーザにより把持されることができる 1 つ以上の突起部と置き換えられる。

**【 0 0 3 6 】**

図 3 を参照すると、本発明の代替の実施例による蒸気アイロン 1 が示されている。蒸気アイロン 1 は、図 1 及び 2 に関連して以上に説明されたものと同様な、本体 2、底板 3、蒸気生成器 5 及び蒸気チャネル 6 を有し、同様な特徴は同一の参照番号を保持している。相違点は、図 3 に示された蒸気アイロン 1 が、保持器 7 A の厚さ全体を通して延在する通路 1 4 を備えた保持器 7 A を持つ芳香カートリッジ 7 を有することである。通路 1 4 は、蒸気チャネル 6 から、底板 3 の接触面 1 0 まで延在する。

10

**【 0 0 3 7 】**

香料受容要素 8 は、通路 1 4 に固定的に受容され、蒸気チャネル 6 から底板 3 の接触面 1 0 まで延在する。香料受容要素 8 の第 1 の端部 8 A は、保持器 7 A が底板 3 の開口 9 にねじ式に取り付けられたときに、蒸気チャネル 6 へと延在し、蒸気チャネル 6 における蒸気に芳香を与える。香料受容要素 8 の遠位の第 2 の端部 8 B は、底板 3 の接触面 1 0 からは突出せず、好適には接触面 1 0 と同一面上にある。このことは、底板 3 が衣類の表面上を動かされるときに、香料受容要素 8 が蒸気がけされている衣類の上で引っ掛かることを防止する。

**【 0 0 3 8 】**

ユーザは、最初に底板 3 における開口 9 から芳香カートリッジ 7 を取り外す必要なく、香料受容要素 8 に液体の香料の滴を供給することが可能である。このことは、香料受容要素 8 の第 2 の端部 8 B が、底板 3 の接触面 1 0 と同一面上となるように位置し、従ってユーザが香料受容要素 8 に香料を供給するために該要素に容易にアクセスすることが可能であるためである。従ってユーザは単に、底板 3 が上方を向くような蒸気アイロン 1 の向きとし、次いで香料受容要素 8 の露出した第 2 の端部 8 B へと液体の香料の滴を供給することによって、香料受容要素 8 に吸収された香料を再補充することができる。

20

**【 0 0 3 9 】**

香料受容要素 8 の多孔質の材料は、香料受容要素 8 に沿って該要素の第 2 の端部 8 B から第 1 の端部 8 A へと香料を移動させる毛細管作用を促進する。香料受容要素 8 の第 1 の端部 8 A は、蒸気チャネル 6 へと突出している。それ故、香料受容要素 8 の第 2 の端部 8 B へと供給された香料の滴は、香料受容要素 8 に沿って流れ蒸気チャネル 6 における蒸気と流体連通し、該蒸気に芳香を与える。

30

**【 0 0 4 0 】**

以上に説明された実施例においては、ユーザは底板 3 における開口 9 から保持器 7 A をねじ式に取り外して、芳香カートリッジ 7 から香料受容要素 8 を取り外すことが可能である。それ故、香料受容要素 8 が壊れたときには該要素が容易に交換されることができ、又は別の芳香を与えられた代替の香料受容要素と容易に交換されることができ。

**【 0 0 4 1 】**

ここで図 4 を参照すると、本発明の代替の実施例による蒸気アイロン 1 が示されている。蒸気アイロン 1 は、図 1 乃至 3 に関連して以上に説明されたものと類似しており、同様な特徴は同一の参照番号を保持している。相違点は、図 4 に示された蒸気アイロン 1 が、蒸気アイロン 1 の本体 2 の外に配置された蒸気生成器 5 を有することである。柔軟なホース 5 A が、蒸気生成器 5 を蒸気チャネル 6 に流体連通させる。使用時には、蒸気が柔軟なホース 5 A を介して蒸気生成器 5 から蒸気チャネル 6 へと供給され、以上に説明された態様で芳香を与えられる。

40

**【 0 0 4 2 】**

以上に説明された実施例においては、開口 9 及び保持器 7 A はそれぞれねじ山 1 1、1 2 を有し、芳香カートリッジ 7 が底板 3 に着脱可能に固定されるよう、保持器 7 A が開口 9 にねじ式に装着されることを可能とする。しかしながら、代替の実施例（図示されてい

50

ない)においては、ねじ山11、12は省略され、別の態様で芳香カートリッジ7が開口9に着脱可能に固定される。例えば、保持器7Aは、底板3における開口9に着脱可能にクリップ止めされても良いし、又は非永続的な接着剤によって着脱可能に固定されても良い。

【0043】

以上に説明された実施例においては、芳香カートリッジ7が底板3における開口9から取り外し可能であり、香料受容要素8の容易な交換、及び香料受容要素8への香料の供給を可能としている。しかしながら、代替の実施例(図示されていない)においては、芳香カートリッジ7が底板3における開口9に永続的に固定される。例えば、保持器7Aは、永続的な接着剤により底板3に接着されても良い。

10

【0044】

以上に説明された実施例においては、香料受容要素8は保持器7Aから取り外し可能であり、容易な保守、及び異なる香料を吸収するために用いられる別の要素と香料受容要素8が交換されることを可能としているが、代替の実施例(図示されていない)においては、香料受容要素が永続的に保持器に固定される。

【0045】

以上に説明された実施例においては、ユーザが、例えば香水又は精油のような液化香料の滴を、香料受容要素8に供給する。しかしながら、香料受容要素8は代替として、気体の香料を噴射されても良いし、又は例えば粉状香料のような固体の香料を供給されても良いことは、認識されるべきである。他の実施例(図示されていない)においては、香料受容要素は香料を予め供給されており、ユーザが香料受容要素に香料を加える必要はなく、単に保持器を用いて底板に香料受容要素を固定する必要があるのみである。

20

【0046】

以上に説明された実施例は単に説明するものであって、本発明の技術手法を限定することを意図したものではない。本発明は好適な実施例に関連して詳細に説明されたが、本発明の技術手法は、本発明の技術手法の精神及び範囲から逸脱することなく、変更され又は同等に修正されることができ、斯かる変更及び修正は本発明の請求の保護範囲に入るとは、当業者は理解するであろう。請求項において、「有する(comprise)」なる語は、他の要素又はステップの存在を除外するものではなく、「1つの(a又はan)」なる不定冠詞は複数を除外するものではない。請求項におけるいずれの参照記号も、請求の範囲を限定するものとして解釈されるべきではない。

30



【 図 1 】

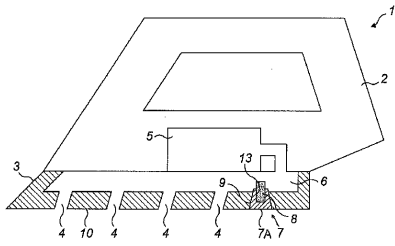


FIG. 1

【 図 3 】

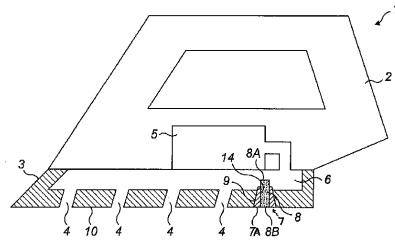


FIG. 3

【 図 2 】

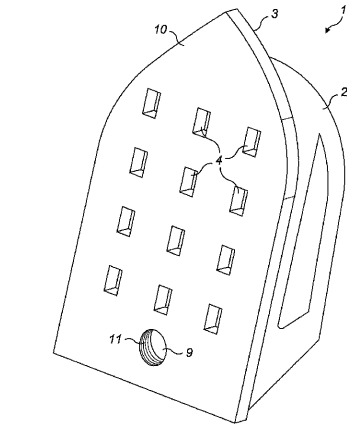
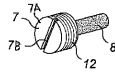


FIG. 2



【 図 4 】

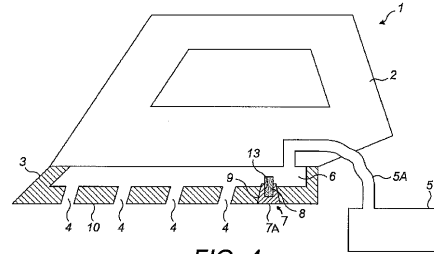


FIG. 4

## 【 国際調査報告 】

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No

PCT/EP2016/052608

<b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b> INV. D06F75/20 D06F75/38 ADD.		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
<b>B. FIELDS SEARCHED</b> Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) D06F		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) EPO-Internal, WPI Data		
<b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 6 351 901 B1 (AMSEL KLAUS [DE]) 5 March 2002 (2002-03-05) cited in the application column 4, lines 56-59 column 5, line 57 - column 6, line 17 column 7, lines 53-58 column 8, lines 54-56; figure 2 -----	1-13
A	EP 1 582 620 A1 (SEB SA [FR]) 5 October 2005 (2005-10-05) paragraphs [0029], [0030], [0033], [0052]; figure 1 -----	1-13
A	DE 296 01 699 U1 (AEG HAUSGERAETE GMBH [DE]) 5 June 1997 (1997-06-05) page 2; figure 1 -----	1-13
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C.		<input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex.
* Special categories of cited documents : "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed		"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
Date of the actual completion of the international search 4 April 2016		Date of mailing of the international search report 13/04/2016
Name and mailing address of the ISA/ European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016		Authorized officer Westermayer, Wilhelm

1

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**

Information on patent family members

International application No

PCT/EP2016/052608

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US 6351901	B1	05-03-2002	AT 226657 T 15-11-2002
			DE 19834605 A1 03-02-2000
			EP 1100988 A1 23-05-2001
			ES 2186402 T3 01-05-2003
			US 6351901 B1 05-03-2002
			WO 0008247 A1 17-02-2000
-----			
EP 1582620	A1	05-10-2005	AT 390505 T 15-04-2008
			BR P10501226 A 08-11-2005
			CN 1676741 A 05-10-2005
			DE 602005005539 T2 07-05-2009
			EP 1582620 A1 05-10-2005
			ES 2302155 T3 01-07-2008
			FR 2868442 A1 07-10-2005
			HK 1079253 A1 04-07-2008
			JP 2005288179 A 20-10-2005
			MX PA05003460 A 06-10-2005
			PT 1582620 E 01-07-2008
			RU 2358051 C2 10-06-2009
			US 2005217152 A1 06-10-2005
-----			
DE 29601699	U1	05-06-1997	NONE
-----			

## フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(72)発明者 ザオ リーホン

オランダ国 5 6 5 6 アーエー アインドーフェン ハイ テック キャンパス 5

(72)発明者 リャオ イール

オランダ国 5 6 5 6 アーエー アインドーフェン ハイ テック キャンパス 5

(72)発明者 ジャン ヨン

オランダ国 5 6 5 6 アーエー アインドーフェン ハイ テック キャンパス 5

Fターム(参考) 4L029 DA18 DA20 EB00 KA01